おじゃします

※支援センター登録団体を
取材し活動を紹介します。

＝朗読劇発表会＝　一般財団法人松木平剛敏メモリー財団

「栄町に演劇文化を育てたい」と願いながら２０１１年に亡くなられた栄町酒直台の松木平剛敏さんの遺志を継ぐために奥様の晶子さんが２０１６年６月、財団を設立しました。財団はふたつの事業を行っています。ひとつは文化・演劇活動を目指す栄町の若者や、ボランティア活動をする人たちの支援活動として助成金事業を、もうひとつは剛敏さんの遺志を継いで自主事業として行っている朗読の会「龍王の会」です。助成金事業は毎年２団体ずつ支援を続けています。朗読の会は、昨年２月から毎月第２土曜日１３時からふれあいプラザさかえで活動を行っています。会員は１４名。

１月１２日（土）１４時からふれあいプラザ視聴覚室で初めての朗読劇発表会が開催されました。発表は８演目、全員参加の朗読劇は「耳なし芳一」と「セロひきのゴーシュ」でした。短い期間の練習でしたが、１４名の良く通る声で物語の情景が想像できました。特に朗読劇はスクリーンに映像が映ることで、より物語の思いを感じることができました。講師の貝山武久さんは「ミュージカルや演劇と違って朗読は台本もあり、作者の文体を生かすことができる。せりふを覚えにくい高齢者や子どもでも入りやすい。台本のみ。舞台装置もいらないので気楽にやれる。今日のようにお客さんがたくさんいるのはありがたいこと。パッションがあがる」と話されました。新しく始めた人は「家で誰とも話さないと声を出すことがないのが参加した一番の理由です。おかげさまで大きな声が出るようになりました」とのことです。いつからでも始められます。一度参加してみませんか。

主催者　あいさつ

朗読劇

朗読発表

朗読劇

一般財団法人松木平剛敏メモリー財団へのお問合せは松木平さんまで　０４７６－９５－５６９６

地域の底力　＝地域で子ども達の見守りを！！＝　【けやきの会】

『千葉県交通安全対策委員会会長（森田健作千葉県知事）表彰』を受けました

第１近隣公園前の交差点等で登校時の交通誘導を行っている「けやきの会」は安食台１，５，６丁目の住民を中心に平成 15 年設立。平成１６年６月から交通安全推進隊として子ども達の登下校の交通誘導と見守りを行っています。雨の日も風の日も寒い日も毎週月、金曜日の朝、学校に向かう子ども達が元気にあいさつをすると、黄色旗を使って横断を導いてくれています。１４年間継続して行うことは大変なことだと思います。感謝します。

１１月１５日（木）「第５７回千葉県交通安全県民大会」においてけやきの会が学区における交通事故防止への貢献が認められ、『千葉県交通安全対策委員会会長賞』を受けました。これからも子ども達の見守りをお願いします。

登校中の様子